

日本大学経済学部
グローバル社会文化研究センター
学 術 講 演 会

■ 講演テーマ ■

**読むこと, 考えること, 書くこと
～ 混迷の時代を生きのびるために～**

【講演者】

週刊読書人 編集長

明 石 健 五 氏

■ 講演概要 ■

大学生の半数以上が、「読書時間ゼロ」という調査が2017年に発表された(全国大学生生活協同組合調べ)。「本を読まなくても、生きる上で困ったことは何もない」という学生からの新聞投書も一時話題になった。しかし、本当に本を読まないでもいいのだろうか。人は、本を読むことによって、著者の思考した軌跡を追体験することになる(これは実際に自分が体験したことと同等の価値を持つ)。「新たなものとの出会い」と言い換えてもよい。そうした出会いに触発されて、様々な考えをめぐらせれば、周囲の人たちに自らの意見を伝えたいくなるものである。目の前にある一冊の書物には、何が記されていたのか。著者の意見に賛成することもあれば、異を唱えることもある。それを、実際に言葉に表現して書きつけて、人に伝えてみる。決して難しいことではない。ほんの少しのコツさえ掴むことができれば、誰もが「書ける＝伝えられる」ようになります。「読み／考え／書く」ことについて考える。約30年にわたって編集の業務に携わってきた現役編集者(現在「週刊読書人」編集長)が伝える実践的表現講座。

日時: 2024年11月13日(水) 18:00～19:30

開催場所: 日本大学経済学部3号館9階3092教室

対象: 教職員・学生 ※ 聴講は無料です。

**Center for Global Studies on Culture and Society
College of Economics, Nihon University**

問合せ先: 日本大学経済学部研究事務課 Tel: 03-3219-3309